

行列のできる学校図書館

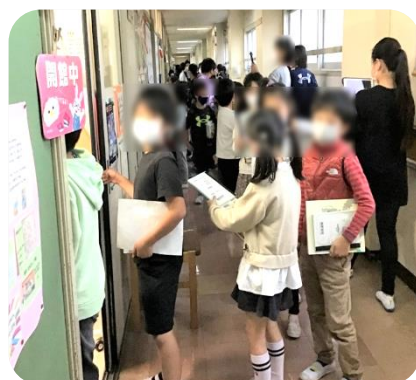
「学校図書館は情報発信基地～1日1SDGsを合言葉に～」

1 活動の概要

休み時間になると、廊下から児童の声が近づき、みるみるうちに図書館が子どもでいっぱい。イベントがある日は廊下にまで行列が続く学校図書館です。

図書館に行けば何かに出会える「学校図書館を情報発信基地に」を目指して、学校司書が子どもや先生、地域の方をつなぎながら、多くの取組を実践しています。

例えば、横浜市中区で開催された「なか区ブックフェスタ」に参加したり、学校司書が独自に作成したSDGsに関連づけたカリキュラムを先生方と共有して授業支援をしたりして、本との出会いからスタートする子どもの学びや気づき、健やかな成長をAIロボット（GROOVE X株式会社開発のLOVOT）のチョコちゃんと一緒に支えています。



チョコちゃん

本をたくさん読む子が大好きです♪
(学校司書より)

2 活動の状況、実際

地域学校協働活動のご経験が豊富な学校司書さん。そのため、子どもや先生に限らず、保護者や地域の方、企業などを巻き込みながら、授業支援や図書館の運営に励んでいます。「シトラスリボンプロジェクト」と「りんごプロジェクト」を合わせた人権教育に根差した読書活動「シトリんプロジェクト」など、情報発信基地にふさわしい場や本の提供を行っています。

3 児童、運営者の声

イメージキャラクターの「シトリん」



【児童より】

わたしたちの学校図書館は令和5年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰受賞校です。学校図書館へ行けば、わたしたちの未来を変える情報があります。そして、楽しみながら役に立つイベントもたくさんあります。チョコちゃんもいる学校図書館は、わたしたちの学校の自慢の一つです。

【学校司書より】

学校図書館は、だれもが本などの情報に親しみ、自分たちの未来をより良いものに創造していくための宝箱です。ここでの学びや気づきは、必ず未来をより良いものし、豊かな人としての生き方につながります。ぜひ大いに活用してほしいです。

